

ナシヒメシンクイに対する各種殺虫剤の効果

りんご研究所

近年、りんご園では重要害虫「ナシヒメシンクイ」による被害が目立っています。
りんご研究所では、この害虫に対する殺虫剤の効果や残効期間を明らかにしたので紹介します。

ナシヒメシンクイ

幼虫がりんご、もも、なし等の新梢先端や果実内部に食入し、被害を及ぼす重要害虫



ナシヒメシンクイ成虫



新梢先端に食入した幼虫



被害果

卵及びふ化幼虫に対する
各種殺虫剤の効果

薬剤の系統	卵に対する効果	ふ化幼虫に対する効果
ピレスロイド剤	高い	高い
有機リン剤	高い	高い
ネオニコチノイド剤	高い	高い
ジアミド剤	低い	やや低い～高い
スピノシン剤	低い	高い

◆卵に対して

ピレスロイド剤、有機リン剤及びネオニコチノイド剤の効果が高く、ジアミド剤及びスピノシン剤の効果は低い。

◆ふ化幼虫に対して

ピレスロイド剤、有機リン剤、ネオニコチノイド剤及びスピノシン剤で効果が高い。

ジアミド剤はフェニックス（効果がやや低い）を除き、高い効果が認められた。

ふ化幼虫に対する残効

残効は薬剤によって異なる。

■：補正死亡率90%以上

薬剤の系統	薬剤名	散布後日数					
		4	8	15	18	26	36
ピレスロイド剤	バイスロイドEW	■	■	■	■	■	■
	サイハロン水和剤	■	■	■	■	■	■
	イカズチWDG	■	■	■	■	■	■
	テルスター水和剤	■	■				
	ロディー水和剤	■	■				
有機リン剤	ダーズバンドF	■					
	スプラサイド水和剤	■					
ネオニコチノイド剤	モスピラン顆粒水溶剤	■	■				
	ダントツ水溶剤						
	バリアード顆粒水和剤	■	■				
ジアミド剤	フェニックスフロアブル						
	サムコルフロアブル10	■	■				
スピノシン剤	ディアナWDG						

◆ピレスロイド剤のうちバイスロイド、サイハロン、イカズチの3剤は散布26日後においても高い効果が認められた。

◆15日間隔で薬剤散布を行う防除体系下では、これら3剤のいずれかを使用した場合には、次回の散布時期の防除剤を省略できる。